



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R | 会長 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- |           |       |           |        |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長      | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト  | 飯田 泰之  |
| ● 副会長     | 伊東 英紀 | ● 副会長     | 山本 登   |
| ● 幹事      | 天野 公史 | ● 副幹事     | 西山 潔   |
| ● 会計      | 朝日 達夫 | ● 副会計     | 田口 健太郎 |
| ● S A A   | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男  |
| ● 副 S A A | 横溝 亘  | ● クラブ会報   | 小山市 康  |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



写真提供 小山市康会員

- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2011-2012年度 **第30週報 No. 1729** 2012年(平成24年) 2月17日 第1729回例会記録 2月24日発行

**司会** 西山 潔 副幹事

**誕生日祝** 脇田いすゞ 会員 (2月21日)  
伊澤 政宏 会員 (2月22日)  
梅崎 興生 会員 (2月22日)

**点鐘** 加藤 仁昭 会長

**斉唱** 「それでこそロータリー」



**ロータリーの綱領** 長井 章 国際奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**四つのテスト** 大西 弘文 職業奉仕委員  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 中村 毅 様 (ゲストスピーカー)

本日〈2月24日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「手に手つないで」
- ◆ 献立 鱈のポワレ
- ◆ 卓話 「仏像のいろいろ」

山本 芳弘 会員



**結婚記念日祝** 江森 国一 会員 (2月17日)



**会長報告** 加藤 仁昭 会長

・2月度定例理事会報告

**幹事報告** 天野 公史 幹事

- ・先週に引き続き、2012-13年度R手帳の注文申込書を回覧致します。必要とされる方は名前を明記願います。なお、費用についてはクラブで負担致します。
- ・神奈川県ロータリアン親睦テニス会(上野杯)の案内が来ておりますので回覧します。
- ・本日、2012-13年度地区協議会の案内を出席義務者の方のボックスへ配布致しました。出欠の返事を事務局までご連絡願います。

**委員会報告**

地区R財団増進委員会 委員 江森 国一

ロータリーカードの入会推進が、地区R財団増進委員会の重点目標になっています。クラブ会員全員に入会していただけるようPRしてまいりますので、皆様のご協力をお願い致します。

**スマイルボックス** 山本 芳弘 SAA

伊澤政宏君 誕生日祝い、ありがとうございます。本年2月22日で68歳になります。平成22年2月22日はゾロ目でした。次のゾロ目は2022年2月22日です。元気でいればのことですが・・・

脇田いずゞさん 寒いですが！寒い中で生まれました。歳は言いません。誕生日祝い、ありがとうございます。

江森国一君 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。何も変わらず33年に突入してしまいました。

加藤仁昭君 ①本日の卓話、中村様、よろしくお願います。楽しみにしております。②先週の第3テーブル茂木さん、石川さん、お世話になりました。

青柳 紀君 久しぶりに新鮮な気持ちで受付当番をさせて頂きました。

月山 勇君 先日の第3テーブルミーティングでは、石川さん、茂木さんにはお世話になりました・・・と言っても、キャンセルさせて頂きましたが。そのキャンセル代として・・・。

横山範夫君 ①昨日の港北RC50周年記念参加の加藤会長、天野幹事、そして田邊さん、青柳さん、山本登さん、飯田さん、遅くまでご苦労様でした。②中村毅さん、卓話よろしくお願致します。

天野公史君 ①第3テーブル茂木マスター、石川副マスター、美味しい食事と為になるデーター、ありがとうございました。②横浜港北RC50周年記念例会に出席の皆様、お忙しいところありがとうございました。手違いによりご迷惑をお掛けしました。すみませんでした。

山田正憲君 寒いですね。うちの梅も開花が2週間以上遅れています。

茂木知子さん 感度が悪い？Dr. 山本は感じているそうです。私は感じない。心配だ。

山本芳弘君 先週の第3テーブルミーティング、茂木さん、石川さん、お疲れ様でした。ロータリーの震災寄付状況、参考になりました。本日、第2テーブルよろしくお願致します。

2月17日	11件	31,000円
本年度累計		1,399,278円

**出席報告** 佐藤 勝彦 出席副委員長

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	41名	(29+12)名	
出席率	78.85%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	90.20%	前々回補正後	92.00%

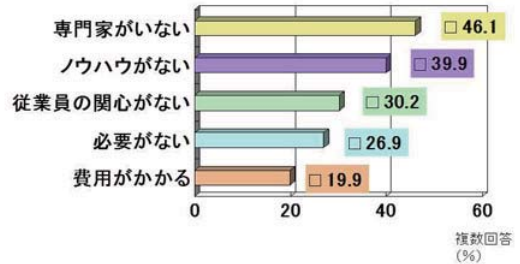


「経営者に求められるメンタルヘルスの知識」

メンタルヘルスマネージメント株式会社 代表取締役  
 中村 毅 様  
 (紹介者 田口健太郎 会員)



メンタルヘルス活動に取り組んでいない理由は？



厚生労働省労働者健康状況調査(2002年)

「事業所における労働者の心の健康づくりのための指針」

⑤2000年8月

4つのケアによる心の健康づくり

- (1)セルフケア(労働者自身のストレスへの対処)
- (2)ラインによるケア(職場の管理監督者による)
- (3)業場内産業保健スタッフによるケア  
 (産業医・衛生管理者・心理相談員・保健師等)
- (4)事業所外資源によるケア  
 (地域産業保険センター・健康保険組合・労災病院・  
 都道府県医師会・医療機関・地域保健機関等)

はじめに

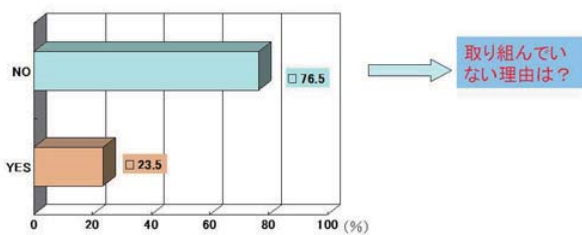
今日、企業における厳しい環境は働く人の心身の負担を強め様々な形でのメンタルヘルス不全に影響を及ぼし続けている。2000年8月厚生労働省が「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を発表し、職場におけるメンタルヘルスの推進を図ってきた。しかしながら不調者は増加し続け、自殺者は10年連続3万人を超えている。また業務により心理的負担を原因として、精神障害を発症し自殺したとして労災認定が行われる事案が近年増加し、社会的にも関心を集めている。

今まさに事業者自らが事業所(職場)におけるメンタルヘルスケアを積極的に推進することを表明すべきである。

3. 1次予防

1次予防に焦点をあてる。ますます複雑化し、急速に変化する社会、経済、組織の中で働く人のメンタルな問題の発生を、未然に防ぐことが重要。  
 そのことが、結局は、企業の生産性の維持向上に結びつく。

あなたの事業所ではメンタルヘルス活動に取り組んでいますか？



厚生労働省労働者健康状況調査(2002年)

研修プログラムを組むにあたって

- ・ 明確で分かりやすい内容
- ・ 楽しく取り組める
- ・ 参加型
- ・ 講師兼ファシリテーター
- ・ 継続研修の導入

## クラブ会員の広場

第28週報で「秘境の温泉で！」と題して、小池将夫会員から記事を頂きました。

この時期ですから正月休みを利用して、テレビや雑誌で今話題の秘湯を訪ねてゆっくりと温泉に浸かり、熱々の鍋で一杯・・・の話かな？などと勝手に想像していました。が、エッ！海外でも人気のスノーモンキーの写真と話題ではないですか。

今回も小池将夫会員から、興味をそそられる続編を頂きました。

### 「いい湯だな・・・！温泉に浸かる猿たち」



長野県北部・志賀高原が源の横湯川の渓谷に位置する地獄谷野猿公苑周辺には160頭の野生猿が「かけ流し・加水無しの100%の温泉付き」の生息地で暮らしています。入浴料はタダ、入湯税もなし・・・。

体を濡らすことを嫌う猿が温泉に入る、これは極めて珍しいことでこの猿たちは世界中の人に知られている有名人・・・猿です。さて、温泉にはすべての猿が入るわけではありません。入るのは雌と子供の猿だけの様です。そうです。「女湯」だったのです。ただ、私たち日本人の「銭湯」は、各都道府県の条例で「男女の混浴は何歳以上は・・・」と規定されていますが、野猿公苑ではその規定がありません。でも入るのは・・・。ここでも例外があるようで、雄のボス猿（17歳）は入りませんが、ナンバー2の雄猿（16歳）は何故か温泉に、理由は定かではなく、小さい時からそのまんま？・・・だそうです。

気持ち良さそうに真っ赤な顔に茹で上がっている？猿たちを見ている観光客は一様に「出たら雪の中・・・風邪引かないの？」と心配していました。

私も小さな声で係のお兄さんにそっと聞いてみました。すると待つてましたと大きな声で「猿は湯冷めで風邪を引いたりしません、人間と皮膚の代謝が違います・・・と」。一段と小さい声で「そうですね・・・」。

せっかく無料の温泉があるのに利用しない猿たちはという、い

ましたいました源泉から旅館までの引き込み用のパイプの上に乗って暖をとる猿たちです。

すべてが選択の自由の野生猿、食料の確保も子育ても、寒さから身を守る術も、すべてに厳しさが伴う極寒の冬・・・地獄谷温泉で僅かですが大麦や大豆をもらって温泉に浸かって授乳や子育て中の野生の猿たちです、「それでいいのだ女湯」。それにしても混浴中のナンバー2には、「あんた、子育てに協力してるの？」つい言ってしまいました。



—記事 小池将夫会員より (完)—

今シーズンはここ何年もない非常に寒い冬。極寒の地に足を運んだからこそこの会心のショットを頂きました。写真好きな獣医さんだけあって、さすがに鋭い視点で観察されています。

続々編の写真が神奈川区文化展に出展されるかもしれません・・・楽しみです。

神奈川区文化展は2月29日から始まります。詳しくは第28週報をご覧ください。

また、会員の方々から、最近の「趣味での体験談」や昔の「クラブの四方山話」など数多くの話題を募集しています。

《クラブ会報委員会 小山》

次回《2月17日》の卓話予定

テーマ「未定」

明治神宮武道場至誠館 館長 荒谷 卓 様  
（紹介者 田口健太郎 会員）